

上智大学 特別イベント

— マスコミ業界研究 —

参加無料

90分で
世界が変わる

学年問わず参加
いただけます

メディアを知る

ジャーナリズムを知る

日時：5月15日（木） 17:00～ 18:30

場所：11-205 教室 定員：50名(予約不要)

【マスコミ就職希望者】 【社会に興味を持っている方】
【ジャーナリズムに少しでも興味のある方】

こんな皆様に
強くお勧め！

政治部記者出身の朝日新聞社元採用担当部長と、週刊朝日・AERAで数々の取材を重ねてきた記者が、就活に欠かせない新聞の読み解き方から人事の本音、取材ジャーナリズムの現場について語ります。ジャーナリズムを考えるきっかけに、マスコミの実際を知るきっかけになる90分です。

- ◆ 新聞から社会を読み解く方法とは？ 新聞メディアについて
- ◇ 伝える仕事、ペンの力を活かす仕事
～ 女性記者が語る現場の力 ～ 週刊朝日、AERA の現場から
- ◆ ことばの力の重要性 : 就活前に自分の日本語力を測ろう「語彙・読解力検定」
- ◇ フリートーク(質疑応答) : 朝日新聞社員がお答えします。

講師紹介

司会 : 中村 智志(上智大学非常勤講師)



木之本 敬介
(きのもと・けいすけ)

1986年朝日新聞社に入社し、青森、横浜総局を経て政治部記者。宮沢、細川総理の番記者、民主党、自民党、首相官邸、国会などを担当。週刊朝日記者、名古屋社会部デスク、生活部デスクのあと、採用担当部長として数え切れないほどの小論文、作文、エントリーシートを読み、面接に立ち合った。その経験を生かして就活講座「朝日学生キャリア塾」を立ち上げ、学生の基礎力向上の手伝いやエントリーシート、面接の指導をしている。「朝日学情ナビ」編集長。



大貫 聡子
(おおぬき・さとこ)

2003年朝日新聞社に入社。横浜総局、週刊朝日編集部、AERA編集部を経て、14年3月から教育総合本部。厚生労働省局長だった村木厚子さん(現・事務次官)が無実の罪に問われた郵便不正事件や、首都圏で男性3人が不審死した婚活殺人事件など、事件や裁判を中心に取材してきた。